

文化のみちマップ

0 250 500(m)



- 建築年 ■ 開館時間 ■ 休館日 ■ 入館料または入園料
- ✕ 店舗や学校、または個人所有等のため、内部見学できません。
- :レンガ造り・コンクリート造りの古い建物 ●:博物館・美術館など
- :木造の古い建物 ●:その他(史跡、庭園など) ● メーグルバス停 ● 基幹バス停



大名文化と庶民の祭り

江戸時代、名古屋城の南に広がった商業地区に対して、東に伸びた武家屋敷地区が「文化のみち」のルーツ。名古屋城、徳川美術館、建中寺などが大名文化の華やかさを伝えるほか、徳川園、建中寺周辺では庶民の祭りが盛んで、今も山車や祭囃子が大切に守られています。

明治の先端産業ゾーン

明治維新による武家の没落後、明治中期には先端産業ゾーンとして活気を取り戻します。時計やバイオリンがこの地で国産化され、豊田佐吉や大隈栄一が機械工業を興しました。この地区はまた、輸出陶磁器の絵付業やガラス工業の中心地ともなりました。

大正ロマンの屋敷町

大正時代、この地区は起業家たちの屋敷町に。発明王の兄・佐吉を支えた豊田佐助の旧邸など、当時の邸宅が今も数多く残されています。また、名古屋最古の木造教会・主税町教会も優美な姿をとどめています。

①名古屋城 A-2

天守閣は慶長17年(1612)竣工。戦災焼失後、昭和34年(1959)に再建されました。本丸御殿は慶長20年(1615)に竣工し、内部には狩野探幽・貞信など狩野派の絵師による江戸初期の傑作である華麗な障壁画(重要文化財1047面)が描かれていました。また、隅櫓・門(重要文化財6棟)、二之丸庭園(名勝)、乃木倉庫(登録文化財)等、貴重な文化財があります。

開9:00~16:30(天守閣は16:00まで)
休年末年始 **料**大人:500円 中学生以下無料 TEL 052-231-1700



よみがえれ!本丸御殿

名古屋市は、市民の理解と協力を得ながら、戦災により焼失した本丸御殿の復元工事が進んでいます。名古屋城本丸御殿 復元イメージ図



②伊勢久 A-3

江戸時代から続く薬種問屋で、らせん状の柱や窓まわりの装飾が特徴です。設計は島武頼三。 **建**昭和5年(1930) **休**

③愛知県庁大津橋分室 A-3

タイル壁や丸窓、バルコニーの装飾などが特徴の、表現派風の建築です。 **建**昭和8年(1933) **休**

④愛知県庁 B-3

登録文化財、都市景観重要建築物。洋風の建物に瓦屋根をのせた帝冠様式の代表作です。 **建**昭和13年(1938) **休**

⑤名古屋市役所 B-3

登録文化財、都市景観重要建築物。洋風の建物に瓦屋根をのせた帝冠様式の代表作。設計コンペにより平林金吾の設計が採用されました。 **建**昭和8年(1933) **休**



⑥三の丸庭園 B-3

陸軍偕行社の南庭として、名古屋城二之丸東庭園の庭石などを利用して作庭されました。緑豊かな、都心のオアシスとなっています。 **建**明治13年(1880)

⑦名古屋市国際交流展示室 B-3

市の姉妹友好都市(ロサンゼルス市・メキシコ市・南京市・シドニー市・トリノ市)を中心に、世界の都市から贈られた記念品を展示しています。 **開**9:15~16:45 **休**土・日・祝・年末年始 **料**無料 TEL 052-953-0333

⑧愛知県議会館 B-3

弁護士・大喜多寅之助(第9代名古屋市長)の旧邸。 **建**大正9年(1920) **休**

⑨七尾天神社 B-2

16世紀初期の創建。七尾の亀が背負って現れたという菅原道真像が祭られていましたが、明治末に焼失。尾張藩家老成瀬家の祈願所でした。

以下の建物の詳しい説明は、裏面をご覧ください

⑩名古屋市政資料館 ⑪旧料亭・樟 ⑫文化のみち百花百草

⑬旧豊田家門・塀 ⑭櫻井家住宅 ⑮料亭・か茂免 ⑯旧豊田佐助邸

⑰旧春田鉄次郎邸 ⑱料亭・香楽 ⑲カトリック主税町教会

⑳大森家住宅 ㉑伊藤家住宅 ㉒文化のみち榎木館(すべてB-3)

㉓金城学院高等学校榮光館 C-2 ㉔堀美術館 ㉕主税町長屋門

㉖文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】(すべてC-3)

⑳長久寺 C-2

城の鬼門(北東)の鎮護で藩主の祈祷所、真言宗智山派。慶長15年(1610)の築城とともに清州から移築しました。表門は移築当時のままとっています。境内の庚申塔は市指定民俗文化財。

㉑片山神社 C-2 7~8世紀の創建。現在の社殿は明治7年(1874)。

㉒貞祖院 C-4

浄土宗。藩祖義直が創建の後、清州から移転しました。現在の本堂は、建中寺の霊廟を明治5年(1872)に移築したものです。

㉓三菱東京UFJ銀行貨幣資料館 C-2

日本をはじめ、世界各国の貴重な貨幣を所蔵・展示しています。 **開**9:00~16:00 **休**月・祝・年末年始 **料**無料 TEL 052-933-5151

㉔名古屋陶磁器会館 C-3

登録文化財、景観重要建造物。タイル壁や半円窓、軒下の装飾などが特徴的な表現派風建築で、陶磁器のまのシンボリックな建物です。設計は鷹栖一英。1階ギャラリーが公開されています。 **建**昭和7年(1932) **開**10:00~17:00 **休**土・日・祝・年末年始 **料**無料 TEL 052-935-7841



㉕赤塚神明社 C-2

7代藩主宗春の時代、境内で芝居が盛んに興行されました。

㉖三日月塚(了義院内) D-2

芭蕉が元禄元年(1688)にこのあたりで詠んだ句「有とあるたとへにも似ず三日の月」を、寛保3年(1743)、五条坊木兎が碑にしましたが、戦災で散逸。修復元したものが、境内に建っています。



㉗建中寺 D-3

都市景観重要建築物。尾張徳川家の菩提寺、浄土宗。2代藩主光友が慶安4年(1651)に創建。本堂(1787)、三門(1652)、総門(1652)、経蔵(1828)などが市指定有形文化財、霊廟が県指定有形文化財に指定されています。

㉘筒井小学校 D-3

市内に唯一残る戦前の鉄筋コンクリート造の小学校建築。 **建**昭和11年(1936) **休**

㉙東海学園講堂 D-3

登録文化財、都市景観重要建築物。表現派風の建築で、タイル壁や半円アーチが特徴的。 **建**昭和6年(1931) **休**

㉚徳川園 D-2

江戸時代には尾張藩家老である成瀬、石河、渡邊の下屋敷が置かれていました。(一時、2代藩主光友の隠居屋敷)。明治以降は尾張徳川邸となり、現在は江戸時代の大名庭園を再現した池泉回遊式庭園となっています。正門・脇長屋・塀は、明治33年(1900)完成の旧徳川邸遺構。 **開**9:30~17:30(入園は17:00まで) **休**月(休日の場合は翌平日)、年末年始 **料**大人:300円 中学生以下無料 TEL 052-935-8988

㉛徳川美術館 D-2

徳川家康の遺品をはじめ尾張徳川家に伝えられた数々の大名道具を展示しています。国宝「源氏物語絵巻」・「初音調度」が有名。 TEL 052-935-6262



㉜蓬左文庫 D-2

徳川家康以来の「駿河御譲本」をはじめ尾張徳川家の旧蔵書を中心に和漢の優れた古典籍等11万点を所蔵・公開しています。 TEL 052-935-2173 **徳川美術館、蓬左文庫共通観覧** **開**10:00~17:00(入館は16:30まで) **休**月(休日の場合は翌平日)、12月中旬~年始 **料**大人:1200円 高・大生:700円 小・中学生:500円

㉝日本福音ルーテル復活教会 D-2

登録文化財。日本で数多くの西洋建築を手懸けた建築家・ウィリアム・メレル・ヴォーリズによる建築。 **建**昭和28年(1953)

㉞エザキ(株)本社 C-4

建大正末(1920年代) **休**

㉟大洋ビル C-4 **建**昭和6年(1931) **休**

㊱日本陶磁器センター C-4 **建**昭和9年(1934) **休**



お願い 市民のマナーが文化のみちを育てます。見学はプライバシーにご配慮ください。

NO! タバコやゴミのポイ捨て/迷惑駐車/公開施設以外への立ち入り

「文化のみち」に関するお問い合わせ先

住宅都市局歴史まちづくり推進室…052-972-2780

■景観重要建造物、都市景観重要建築物等について
住宅都市局都市景観室……………052-972-2732

■白壁・主税・榑木町並み保存事業
住宅都市局歴史まちづくり推進室…052-972-2782

■文化財について
教育委員会文化財保護室……………052-972-3269

■なごや観光ルートバス
市民経済局観光推進室……………052-972-2425

■「歩こう!文化のみち」事業
東区役所企画経理室……………052-934-1106

公共交通機関でお出かけを。

名古屋城・徳川園などを除き、地区内に駐車場はありません。地下鉄やバス(基幹バス2号系統、なごや観光ルートバス)をご利用ください。

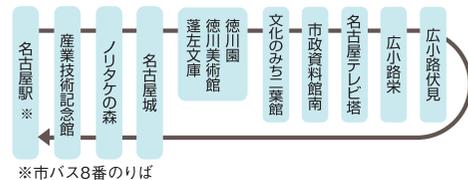
土・日・休日・毎月8日は
ドニチエコきっぷ がお得!



なごや観光ルートバス
NAGOYA SIGHTSEEING ROUTE BUS
メーグル



お問い合わせ 交通局浄心営業所 TEL052-521-8990



この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。 2013.9.50000



建 建築年 **開** 開館時間 **休** 休館日 **料** 入館料または入園料

☒ 店舗や学校、または個人所有等のため、内部見学できません。

●:レンガ造り・コンクリート造りの古い建物 ●:博物館・美術館など

●:木造の古い建物 ●:その他(史跡、庭園など)



10 名古屋市市政資料館

ネオ・バロック様式のレンガ造りの建物(重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」)で、市の公文書館として市政関連資料の閲覧ができるほか、建物・市政・司法に関する展示を行っています。また、市民の文化活動の場として、



有料で集会室や展示室もご利用いただけます。

建 大正11年(1922)

開 9:00~17:00

休 月(休日の場合は翌平日)、第3木(休日の場合は第4木)、年末年始

料 無料

TEL 052-953-0051

11 旧料亭・樟 都市景観重要建築物。 **建** 大正初期 ☒

12 文化のみち百花百草

大正9年(1920)に建てられた書院・茶室・土蔵を改修し、多目的ホールを新築して開館しました。徳川美術館所蔵の百花百草図屏風(重要文化財)にちなんだ庭園が楽しめます。

開 10:00~16:00 **休** 月・火・日

料 大人:500円 小・中学生:200円

TEL 052-931-1036



13 旧豊田家門・塀

都市景観重要建築物。武家屋敷の面影を門構えに見ることが出来ます。豊田利三郎(佐吉の娘婿)旧邸跡。 **建** 大正7年(1918)頃

14 櫻井家住宅

景観重要建造物。武家出身の櫻井善吉が自ら設計した洋風住宅です。

建 明治38年(1905) ☒

15 料亭・か茂免

名古屋市の中心的な紙問屋、中井洋紙店主の旧邸。戦前戦中は皇族の居所として利用されていました。 **建** 戦前 ☒

16 旧豊田佐助邸

豊田佐助は、兄の佐吉を支えた実業家です。佐助邸は、大正12年(1923、大正4年の説も)に建てられた白いタイル貼りの洋館と広い間取りの和館で構成されています。

開 10:00~15:30 **休** 月(休日の場合は翌平日)、年末年始

料 無料

※ガイドボランティアによる建物ガイド実施日/火・木・土 10時~12時、13時~15時



17 旧春田鉄次郎邸

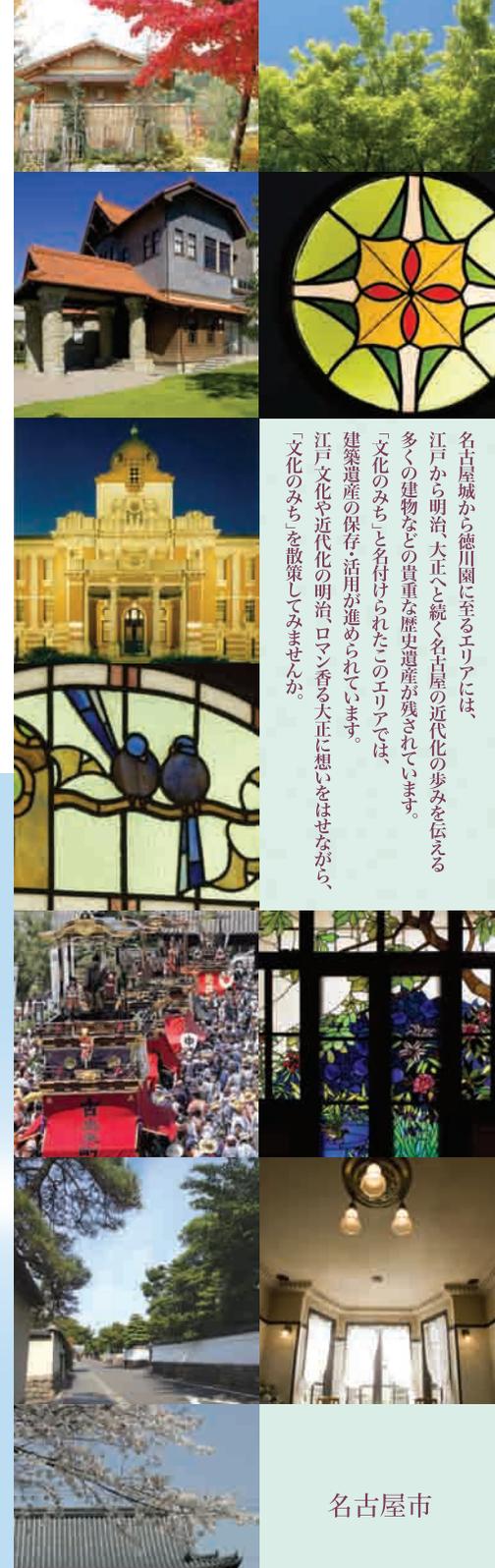
景観重要建造物。洋館と奥にある和館で構成されており、武田五一の設計であると言われています。見学の際は旧豊田佐助邸に先にお立ち寄りください。

建 大正13年(1924) **開** 10:00~15:30
※1階レストランは見学できません

休 月(休日の場合は翌平日)、年末年始

料 無料

文化のみち



名古屋城から徳川園に至るエリアには、江戸から明治大正へと続く名古屋の近代化の歩みを伝える多くの建物などの貴重な歴史遺産が残されています。「文化のみち」と名付けられたこのエリアでは、建築遺産の保存・活用が進められています。江戸文化や近代化の明治、ロマン香の大正に想いをよせながら、「文化のみち」を散策してみませんか。

名古屋市

18 料亭・香楽 ちからまち 明治34年(1901) ❌

19 カトリック主税町教会

登録文化財(一部)、都市景観重要建築物。名古屋最古の教会堂です。鐘楼(復元)の鐘は100年前のフランス製。敷地内の「ケヤキ」の木は都市景観保存樹に指定されています。

📅 礼拝堂: 明治37年(1904)
司祭館: 昭和5年(1930) 📄 無料



20 堀美術館

近代日本の巨匠の名画。藤田嗣治、梅原龍三郎、三岸節子、棟方志功、香月泰男、熊谷守一、長谷川利行、加山又造、杉山寧、前田青邨、安田靉彦、伊東深水など

📅 12:30~17:00 (入館は16:30まで) 📄 月(休日の場合は翌平日)
料 大人: 1000円 学生: 500円 TEL052-979-5717

21 主税町長屋門 ちからまち

江戸時代。名古屋城下に当時の位置のまま残る唯一の武家屋敷長屋門です。

22 大森家住宅

都市景観重要建築物。📅 大正5年(1916年)頃。 ❌

23 伊藤家住宅

都市景観重要建築物。📅 大正初期(1910年代)。 ❌

24 文化のみち しゅもくかん 榎木館

市指定有形文化財、景観重要建造物。陶磁器商として活躍していた井元為三郎が大正末期から昭和初期にかけて建てた邸宅です。約600坪の武家屋敷の敷地割に、庭を囲むように大正浪漫あふれる洋館、和館、茶室や裏庭に東西二棟の蔵が残されています。洋館には、当時の流行を先取りしたステンドグラスがあり、おしゃれな喫茶室も併設されています。

📅 10:00~17:00
📄 月(休日の場合は翌平日)、年末年始
料 大人: 200円 中学生以下: 無料
TEL052-939-2850



25 金城学院高等学校栄光館

登録文化財、都市景観重要建築物。スペイン瓦に清楚な白壁が美しい建物で、佐藤鑑、城戸武男による設計です。

📅 昭和11年(1936) ❌

26 文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】

登録文化財(一部)、景観重要建造物。大正時代に、「日本の女優第1号」と言われた川上貞奴が居住していた和洋折衷の建物を、創建当時の姿に移築復元、文化のみちの拠点施設として開館しました。館内では、文化のみちのさまざまな情報を発信するとともに、川上貞奴に関する資料や郷土ゆかりの文学資料を展示しています。

📅 10:00~17:00 📄 月(休日の場合は翌平日)、年末年始
料 大人: 200円 中学生以下: 無料 TEL 052-936-3836



■文化のみちガイドボランティア

東区文化のみちガイドボランティアの会が、白壁・主税・榎木町並み保存地区を主とした文化のみちのガイドを行っています。(要予約・コース応相談)
【照会先】東区役所まちづくり推進室
TEL 052-934-1123 FAX052-935-5866
※名古屋城、文化のみち二葉館、徳川園、徳川美術館でも、ガイドボランティアによるガイドが行われています。詳しくは各施設までお問い合わせください。

東区の山車

東区には5輛の山車が保存されています。毎年6月の第1土・日曜日に行われる天王祭では、町内を練り歩き初夏の風物詩として親しまれています。この祭りにあわせ、「徳川園山車揃え」を日曜日に行っています。



神皇山車 (じんこうしや)

東区筒井一・二丁目/筒井町神皇山車保存会 昭和48年 名古屋有形民俗文化財指定



湯取山車 (ゆとりくるま)

東区筒井三丁目・筒井町4丁目/湯取山車保存会 昭和48年 名古屋有形民俗文化財指定



鹿子山車 (かしこしや)

東区新出来(西之切)/西之切奉賛会 昭和48年 名古屋有形民俗文化財指定



河水山車 (かすいしや)

東区出来町(中之切)/中之切奉賛会 昭和48年 名古屋有形民俗文化財指定



王羲之山車 (おうぎしや)

東区古出来(東之切)/古出来町奉賛会 昭和49年 名古屋無形民俗文化財指定